

□ Newsletter Vol.10 より

DiSC 行動理論と目標管理を活用したリーダーシップ研修の評価

聖マリアンナ医科大学病院看護師長 伊藤正子氏

DiSC で行動特性を把握、8 要素でリーダーシップを学ぶ

私たちの病院は、川崎市の中核病院であり、ナースの役割に関する自覚などこれに対応した教育が必要になっています。今回の DiSC フォーラムでは、中堅ナースのリーダーシップを育成する研修の紹介をいたします。

当病院では、6 年前から DiSC 研修と「効果性の8要素」をリーダーシップ研修に取り入れているため、ほぼ共通言語化しています。DiSC を取り入れる前は、交流分析を導入していたのですが、この手法では極限状態を経験しているナースが個人的に追い詰められ、落ち込んでしまうケースもたびたびありました。そこで、良い、悪いという判断基準ではなく、行動特性として理解しながら仕事に適應できる DiSC に代えたところ、そのような状況が生まれることはなくなりました。

今回の研修の対象となるのは、上司の推薦による職場のリーダーシップを期待されるキャリア3年のナースで、なおかつ、研修の成果を職場に還元する意思のある者となっています。

研修目標は「上司にリーダーとして何を期待されているかを認識する」「DiSC を通して自分の仕事スタイルを知り、活用する」「効果性の8要素を学び、リーダーシップとは何かを学習する」「目標管理を通して、職場でリーダーシップを発揮する」ことでした。

スキルが習慣化されるまで、繰り返し実践する

研修スケジュールは2006年4月から9月まで、個人目標を立案したり、看護師長による DiSC 研修や HRD 社の十亀取締役からリーダーシップに必要な8要素の講義などを受けました。さらに、スキルが習慣化され実践的に身につくまで個人目標の修正とグループワークを繰り返し行っていました。

グループワークでは、アドバイザーがついて目標

管理の実践状況をシェアし、課題達成に向けて討議したり、8要素と DiSC の強みを、実践でもグループワークでもできているかをお互いに点検する作業を行っていました。

8要素と DiSC を活用した目標管理の実施を研修生が共有することなどを目的に、研修には中間報告会を設けています。

このような研修によって、ナースのリーダーシップに対する意識が高くなり、明確なビジョンを持ち、自分が何をすべきなのかの自覚が明確化されてきていることが、大きな成果といえるでしょう。

※なお、聖マリアンナ医科大学病院の事例に関しては、Newsletter Vol.10 で詳しく展開します。